

7月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに提供する情報は、龍ヶ崎市 市民防災フェア2021パネル展示会の開催の情報提供です。

今年は昭和56年の小貝川決壊から40年が経つ節目の年ということもあり、ここで、改めて、龍ヶ崎市の過去の災害を振り返り、記憶を風化させず、今後起こりうる災害に備えることが重要と考えております。

今年の市民防災フェアは、未だ、新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれないことを踏まえ、昨年度に引き続き、本市における過去の水害を当時の写真や映像などで振り返るパネル展を国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所との共催で開催します。

パネル展は、令和3年8月20日・金曜日から8月27日・金曜日まで、サプラ1階・光のモールを会場に行います。

会場では、幅広い世代の方にとって、分かりやすいパネルや映像が見られるほか、水害時の避難方法や政府が作成したコロナ禍における避難のポイントなどが展示される予定です。多くの市民の皆さまにご覧いただき、災害をより現実的に捉えていただける機会となればと考えております。

次に、本市の若手・中堅職員を対象とした「SDGs職員研修」開催の情報提供です。

本市では、職員のSDGsに関する理解を深め、より一層の推進を図っていくため、昨年度から職員に対する研修会を開催しています。

今年の職員研修は、8月2日・月曜日の午後1時10分からと午後3時10分

からの2回、各回1時間40分、龍ヶ崎市役所附属棟1階第1会議室で行います。

研修の講師は、昨年に引き続き、上智大学名誉教授の田中治彦たなかはるひこ氏に登壇いただく予定です。田中先生はSDGsの専門家でもあり、前回の研修を受講した職員からは「SDGsが市の施策とどう結びつくのかイメージできた」などと大変好評でした。

現在、国・地方公共団体、民間を問わずさまざまなところで推進が図られている「SDGs」ですが、本市でもこの間、政策情報誌への特集記事の掲載や、各課の案内板へのアイコン掲示など、出来ることから取組みを始めています。SDGsの推進には「持続可能な開発」や「誰一人取り残さない社会」といったコンセプトがあり、行政でも親和性が高い取組みです。例えば環境対策などでは市でも既に取り組んでいるものも多くありますが、研修を通し、本市職員がSDGsを率先して推進出来るよう、さらに取組みを進めてまいりたいと考えています。

最後に、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供です。

国の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が8月22日まで続くなか、全国的に新型コロナウイルスの感染者の拡大が止まらず、いわゆる第5波が到来したと見られております。

茨城県内でも県南地域を中心に感染者が拡大傾向にあることから、本市を含む県内16市町村が本日7月30日から8月12日まで県による感染拡大市町村に指定されました。県内の陽性者は、20代から30代などの若い世代が44%を占め、感染力が強いとされるデルタ株の割合が高くなっていることが傾向として判明しています。

夏休みが始まり、特にお盆の時期には、遠出や会食の機会が増えることが懸念さ

れることから、感染拡大を防止するため、いま一度、基本的な感染症対策の徹底をぜひともお願いいたします。

また、本市におけるワクチン接種の状況ですが、12歳以上のすべての方に接種クーポンの配布が済んでおり、集団接種は50歳以上の方と12歳から18歳までの方を対象に予約を受付しております。

しかしながら、国からのワクチンの供給量が本市の希望量よりも大幅に減っており、集団接種の予約定員を縮小せざるを得ないなど大変、歯がゆい思いをしております。

感染拡大が続くなか、今後も市民の皆さまが少しでも安心して生活できるよう、市として鋭意努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。